

年 組 名前:

問1

甲府市の朝日通り商店街連盟は、
何のパートナーに登録されましたか。

.....パートナー

問2

次の文章の①から⑥に当てはまる
言葉や数字を、答えてください。

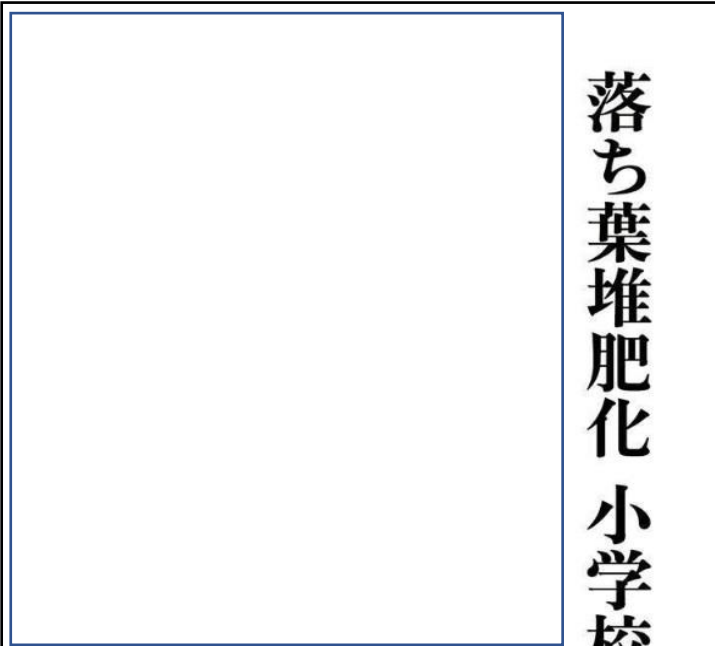
『朝日通り商店街は約①年前から、
街路樹の②の落ち葉を回収し、
③を作っている。
④は新紺屋小が⑤に利用していて、
廃棄物の⑥や環境負荷の⑥に
つながっている』

- ①..... ②.....
③..... ④.....
⑤..... ⑥.....

問3

この取り組みは、国連が提唱する
持続可能な開発目標の中で、特に
関連しているものを答えてください。

.....



落ち葉堆肥化 小学校が活用



甲府市の朝日通り商店街連盟(浅川敏行会長)は、市のSDGs推進パートナーに登録された。ハナミズキの落ち葉を使った堆肥づくりの説明を聞く児童||甲府・新紺屋小(朝日通り商店街連盟提供)

朝日通り商店街 市SDGs 団体に

商店街は、通りのシンボルになっているハナミズキの落ち葉を地元の新紺屋小で堆肥化し、野菜作りに活用する取り組みを進めている。市SDGs推進課によると、商店街の登録は2例目。朝日通り商店街は約10年前から、街路樹のハナミズキの落ち葉を回収し、堆肥を作っている。堆肥は同校が野菜作り(スプリングワイン)に利用していて、廃棄物の削減や環境負荷の軽減につながっているという。国連が提唱する持続可能な開発目標(SDGs)で紹介している。登録を機に今後は、堆肥づくりの過程なども情報発信し、児童らの環境問題への意識向上を図る。商店街でSDGs推進を担当する佐野哲也さんは「子どもたちの興味を広がるように取り組みを進めたい」と話している。〈杉原みずき〉

(2023年9月14日付 山梨日日新聞13面)